図書館の窓から

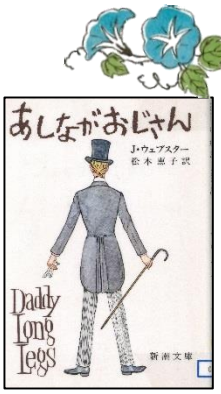
～「読みたい・識りたい」そういう図書館がある～

長岡市立中央図書館報　No.149
2015★夏号

ちょっとひと息 BOOK TIME

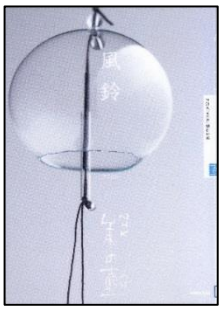
テーマ：涼を求めて…

日差しが強くなる季節、
図書館でゆったりと涼みながら読書しませんか？



『あしながおじさん』J・ウェブスター／著　松本 恵子／訳　新潮社

あしながおじさんのすすめで主人公ジルーシャが、大学の夏休みに毎回過ごしたロック・ウイロー農園。乳しぼりやバター作り、魚釣りに山登りと夏休みを楽しみます。読むたびにさわやかな風を感じることができる名作です。（矢野　直美）



『ＮＨＫ美の壺　風鈴』ＮＨＫ「美の壺」制作班／編　日本放送出版協会

風鈴は、実は「楽器」だということをご存知ですか。もともとの起源は音の鳴り方で吉兆を占う道具だったとか。蒸し暑い夏、風を教えてくれるだけでなくあの独特の音色からも、涼しさを感じることができます。ガラス、鉄、陶器…様々な素材で作られた風鈴が紹介されています。（西　和美）

おまけの MUSIC TIME

『フルートとオーボエのための二重奏によるオペラ名旋律集』
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト／作曲
ヴォルフガング・シュルツ／フルート
ハンスイェルク・シェレンベルガー／オーボエ　ポリドール



モーツァルトの作ったオペラの中のハイライトをフルートとオーボエのために簡約し編曲した作品です。二人の名演奏家がそれぞれの楽器の味わいと、オペラの名場面への想像を掻き立てます。「ドン・ジョバンニ」や「フィガロの結婚」など幅広いオペラの曲が楽しめます。（井口　麻子）

「大人のとしょリンピック」おすすめの１冊！



３・４月に「大人のとしょリンピック」が開催されました。
チャレンジしていただいた方のおすすめ本の一部を紹介します。

『思想史としてのゴッホ』
木下　長宏／著　學藝書林
＜おすすめポイント＞

ゴッホの「劇的人生」を一つの思想・哲学として捉え、より多角的詳細な描写は、読む者の胸を打たずにおかない。個人同人誌に連載されたものが多く、大胆な発想を是非、味わって欲しい。特に、「アルル時代」をおすすめします。

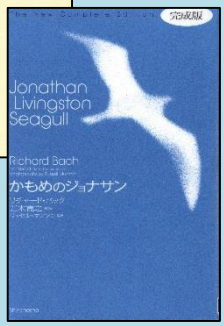
（ペンネーム：安木沢　修一さん）



『かもめのジョナサン』完成版
リチャード・バック／著　五木 寛之／創訳
ラッセル・マンソン／写真　新潮社
＜おすすめポイント＞

この本はくじけそうになった時に何度も読む本です。何度でも挑戦するカモメのジョナサン。だれ一人彼を理解してくれなくても高みを目指すその心の強さが私のオススメするポイントです。

（ペンネーム：ＯＯＢＡＫＯさん）



１８名の方が目標の５０冊読破を達成しました。ご参加いただき、ありがとうございました！

＊「図書館の窓から」内で紹介した本は、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

中央図書館のデジタルサービス

中央図書館では、各種データベースの利用サービスを実施しています。利用できるのは、長岡市内で中央図書館だけ。ぜひ足をお運びください。
役に立つ情報があるはずです。



国立国会図書館デジタルコレクション

○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化し、絶版などの理由で入手が困難な資料、約１３８万点を検索・閲覧できます。キーワード検索ではタイトル、著者、出版社、目次などで検索できます。プリントアウトも可能です。（長岡市立図書館の貸出カードを持っている方のみのサービスです）

【例えば・・・】

◆山本五十六について：『大陸日本をリードする軍部政界財界十人男』
山路三郎/著　トップニュース社/昭和 13 年出版
『越佐と名士』坂井新三郎/著　坂井新三郎/昭和 11 年出版

○歴史的音源

国内で製造されたＳＰ盤等に録音された様々なジャンルの音源について、デジタル化音源をインターネット上でお楽しみいただけます。

【例えば・・・】

♪独唱：勝ちて帰れ「歌劇アイーダ」より（コロムビア．1939）
日本人初の国際的なオペラ歌手、三浦環による独唱。

♪演説：普通選挙について（コロムビア，1928）
明治 23 年第一回総選挙から連続 25 回当選した、政治家尾崎行雄による昭和３年の演説



各種データベース

○金額算定解説データベース

法律情報において定評のある第一法規が提供するデータベース。交通事故の示談金や離婚慰謝料などを豊富なデータからシミュレートします。

あらゆる判例や法律を検索できる「D1-LOW.com 第一法規法律情報データベース」もあわせてご活用ください。

○アサヒグラフ

１９２３年創刊から１９５６年までのアサヒグラフ約２，０００冊をカラーでデジタル収録した、雑誌データベースです。目次・概要のキーワード検索も可能。

「朝日新聞データベース聞蔵Ⅱ」の中のサービスの一つです。ほかにも、歴史写真アーカイブや朝日新聞創刊（明治１２年）からの紙面を検索することもできます。



※ご紹介した以外にも、ご利用いただけるデータベースサービスがございます。詳しくは職員にお問い合わせください。

戦後７０年企画は、図書館ならではの戦災復興展！　館長通信

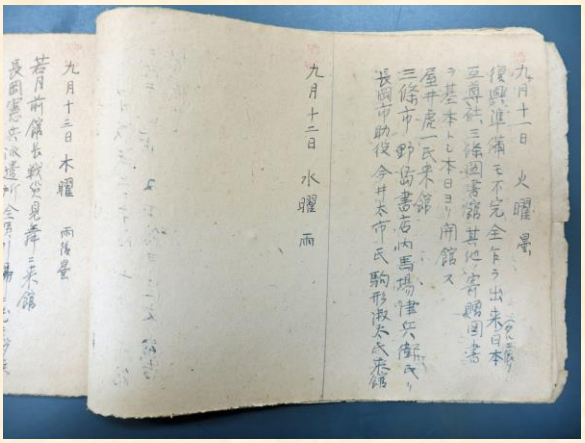
中央図書館では、７月 25 日（土）～８月 30 日（日）、１階エントランスを会場に「図書館資料に見る長岡の戦災復興展」を開催します。

昭和 20 年８月１日の長岡空襲で、互尊文庫（図書館）が所蔵していた７８，０００冊の資料はすべて焼失し、戦後の長岡市立図書館は、ゼロからの出発となりました。

歳月の経過によって、悲惨な戦争体験の記憶は風化していきます。その一因として、経済成長による市民生活の大きな変化があると言われています。戦災からの復興を振り返ることは、現代社会と第二次世界大戦の間の歴史を結び付け、戦争の怖さや平和の尊さを改めて伝える一助になると考えています。

展示会は「長岡空襲と互尊文庫の復興」（７月 25 日～８月 16 日）、「市民の復興へのあゆみ」（８月 18 日～30 日）とテーマを変え、再開直後の９月 15 日に寄贈された書籍『日本書道』や当時の日誌、蔵書目録、各種刊行物などの図書館資料とパネルから、長岡市の戦災復興のあゆみを紹介します。ぜひ、みなさんご覧ください。

（金垣　孝二）



▲互尊文庫の日誌
長岡空襲から約１カ月後の９月 11 日に、第２書庫２階を閲覧室として再開しました。

中央図書館所蔵資料紹介　№１４５　井上円了　書

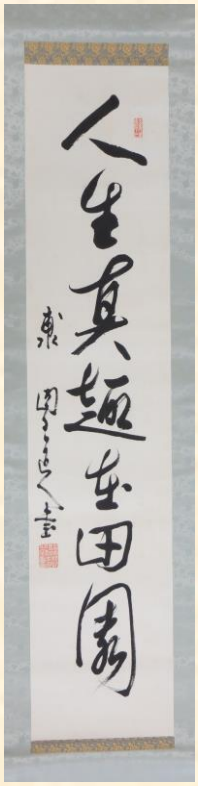
井上円了（1858～1919）は、安政 5 年、三島郡浦村（現長岡市越路）の真宗大谷派慈光寺に生まれました。少年期は、片貝村（現小千谷市）の石黒忠悳（ただのり）（のちの軍医総監）の塾に通います。その後、長岡高等学校の前身校で洋学を学ぶ一方、生徒会「和同会」を創設、さらに東京大学文学部哲学科に進みます。

円了は、若くして哲学の学び舎を創ることを志し、啓発と資金集めの為に全国を講演して回り、また世界一周とも言える海外視察を行いました。

学問を幅広く探究し、また数多くの著作物を残した円了は、妖怪博士とも称されますが、学生時代につくった漢詩は、すでに四季の風景を美しく詠んでいます。

時を経て大正６年（1917）、円了の晩年の作であるこちらの書は、「人生の真の趣は田園に在り」。「甫水（ほすい）」は故郷の浦にちなんだ号です。温めてきた言葉を、思いのままに表したのでしょうか。生涯旅の空の下、寝る間も惜しんで活動してきた円了です。いずれは故郷の越路に帰り、詩作に耽ったり書物を読んだり、自然とともに心豊かに暮らしたい。そんな望みがこの七つの文字から伝わって来ます。

（小熊　よしみ）



人生真趣在田園　甫水　円了道人書

７月～９月 イベント情報

戦 後 70 年 企 画

① 図書館資料に見る長岡の戦災復興展

＠中央図書館エントランス

長岡空襲後に寄贈された書籍や蔵書目録・互尊文庫戦災復興資金の募集趣意書各種雑誌新聞等【会期：7/25～8/30】※互尊文庫でも開催

■展示解説　8/1（土）・8/15（土）14：00～　★申込不要・直接会場へ

② 関連書籍コーナー「忘れてはならない戦後 70 年」

一般、児童、美術、郷土などのジャンルから幅広く本を集め展示貸出。

【会期：7/1～8/30】

映 画 会

★入場無料・申込不要　※時間表記のないものは 14：00～

7/11（土）**「カノジョは嘘を愛しすぎてる」2013 年/日本**

7/26（日）夏休み映画会

① 11：00－11：30 **「ﾚｵ･ﾚｵﾆ　５つの名作集」1987 年/ｲﾀﾘｱ**

② 14：00－15：30 **「小さなﾊﾞｲｷﾝｸﾞ ﾋﾞｯｹ」2010 年/ﾄﾞｲﾂ**

8/15（土）**特集：平和を考える** **戦後 70 年企画**

① 10：30－11：50 **「ひろしま 石内都 遺されたものたち」2012 年/日本**

② 14：00－15：50 **「はだしのゲン」1976 年/日本**

8/28（金）**「蠅の王」1963 年/ｲｷﾞﾘｽ**

9/8（火）**「きっと、うまくいく」2009 年/ｲﾝﾄﾞ**

9/21（月・祝）**敬老の日スペシャル**

① 10：30-12：00 **「歌えマチグヮー」2012 年/日本**

② 14：00-16：00 **「人生、いろどり」2012 年/日本**

講 座 ～子どもに関わるすべての方へ～

9/27（日）「子どもたちに伝えたい物語の世界」

講師：錦恵美子氏（新潟県立大学非常勤講師）

◆時間：13：30-15：30　◆申込：9/11（金）から窓口・電話・ＨＰで受付　◆定員：180 人（先着）　◆対象：高校生以上

◆一時保育：9/21 までに要予約。先着５名。６ヶ月以上が対象。

講座終了後、当館職員がブックスタートについてお話します。

興味のある方は、ぜひご参加ください。（15：40-16：00）

新刊◆長岡市史双書 No.54 のご案内◆

『江戸時代の旅と旅日記(2)東北への旅①』1,500 円(税込)

いつの時代も変わらない旅の魅力が満載です。

好 評 発 売 中 ！

■合併 10 周年記念■　展覧会のお知らせ

郷土長岡を創った人びと展

―長岡市立中央図書館所蔵資料を中心に―

長岡市立中央図書館では、合併 10 周年を記念し、市内 11 地域において、人づくり・まちづくりに貢献・寄与し、教育・文化・経済・特産物の振興などの分野で優れた業績のあった先人たちについて、中央図書館・文書資料室・栃尾美術館の所蔵資料を中心に紹介します。地域の誇りといえる先人たちと、遺された資料は、長岡の貴重な財産です。どうぞこの機会をお見逃しなく、長岡まつりなどにあわせてお出かけください。

≪見どころ≫　〇戦国武将から昭和の文人まで、市内全 11 地域の先人たちを一堂に集めた初めての展覧会。〇新収蔵資料・初公開資料を多数展示。〇長岡市指定文化財を多数展示。

会　期：平成 27 年 7 月 25 日（土）～8 月 9 日（日）
休館日：7/27（月）、7/31（金）
会　場：長岡市美術センター（中央図書館２階）
時　間：10:00～18:00　　入場料：無料
主　催：長岡市・長岡市教育委員会

関 連 行 事

★申込不要・直接会場へ

■展示解説　どうぞお気軽にご参加ください！

講師が展示品の中から好きな人物や資料を選び解説します。

いずれも 14:00～（約 30 分）

7/25（土）　山本　一成氏　（高橋竹之介顕彰会代表）
7/26（日）　長谷川健一氏　（長岡郷土史研究会会長）
8/6　（木）　今井　雄介氏　（長岡郷土史研究会顧問）
8/8　（土）　古田島吉輝氏　（長岡戦災資料館顧問）
8/9　（日）　櫻井　兵治氏　（川口歴史民俗資料館説明員）

■まいにち１点解説会

平日開館日の 11:00～当館職員が行います。（約 15 分）

同 時 開 催

■花火関連資料展示

金澤翔子書・水島爾保布画・山下清版画・富岡惣一郎版画

花火師 嘉瀬誠次氏寄贈資料などを展示。

発行：平成 27 年 7 月 1 日　　長岡市立中央図書館
〒940-0041 新潟県長岡市学校町 1-2-2　℡：0258-32-0658
URL：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp